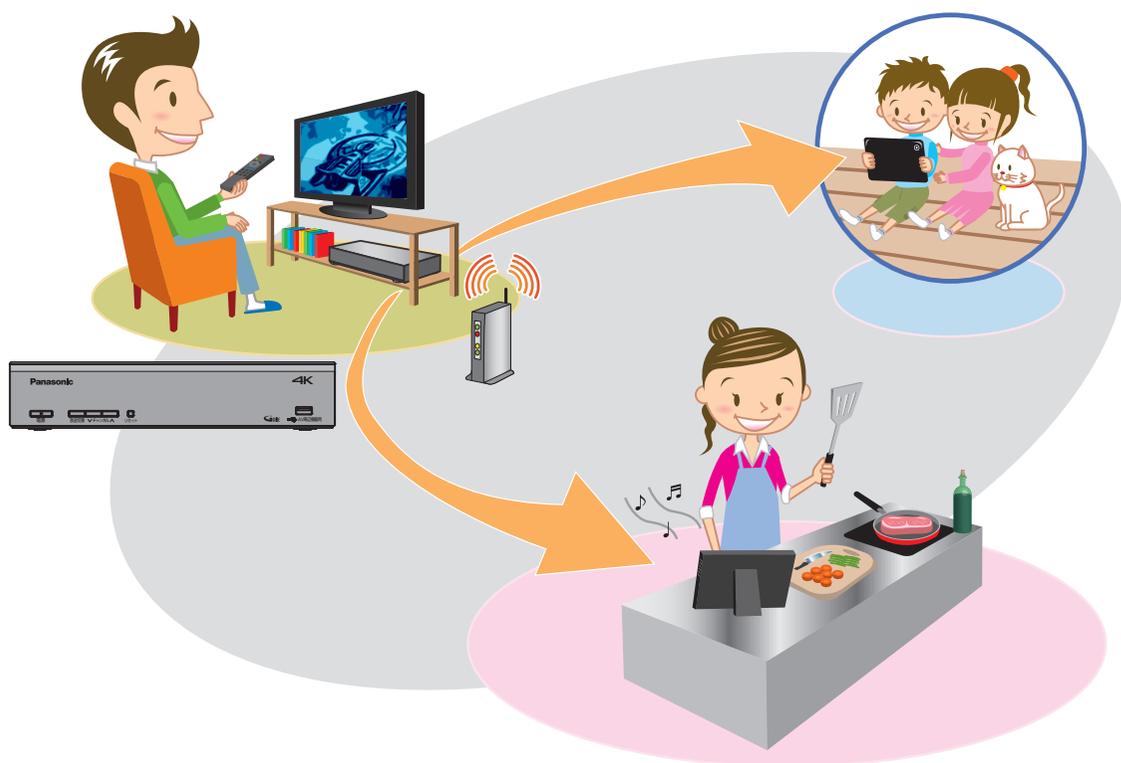


セットトップボックス

STBのホームネットワーク 利用ガイド

iOS (iPhone/iPad/iPod touch) 版

(TZ-LT1500BW / TZ-HT3500BW)



ページ

もくじ

- 2 ホームネットワークでできること
- 4 はじめに
- 5 STB (本機) のネットワーク設定
- 9 ホームサーバー機能 (お部屋ジャンプリンク) 設定
- 10 iOS 機器とルーターの接続
- 11 DiXiM CATV Player の設定
- 13 DiXiM CATV Player で見る

ホームネットワークでできること

ホームサーバー機能(お部屋ジャンプリンク)を活用してSTB(本機)に録画した番組や、現在放送中の番組をiOS機器(iPhone/iPad/iPod touch)や、お部屋ジャンプリンク対応テレビ(ビエラなど)で視聴することができます。(録画転送/放送転送)

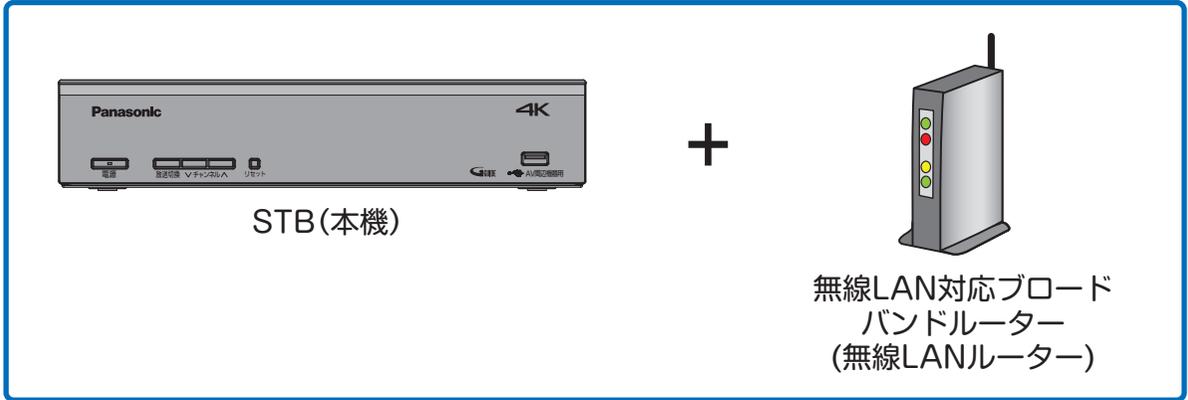


お知らせ

- 録画転送/放送転送は同時に1番組だけ転送できます。LAN録画やダビング、HDD録画などで転送が停止する場合があります。

必要な機器・アプリ

■【サーバー】(送信側)



■【クライアント】(受信側)



- iPhone、iPad、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。

※iOS機器で視聴するには専用の視聴アプリ(DiXiM CATV Player*)をインストールする必要があります。(P.11ページ)

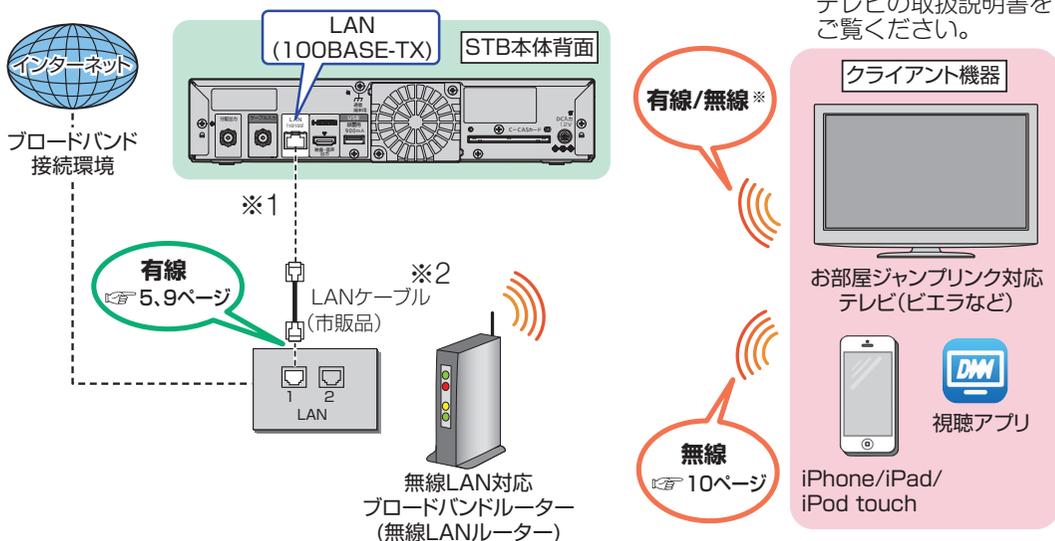
★DiXiM CATV Player は、STB(本機)をサーバーとして動作するDTCP-IP対応のホームネットワークプレイヤーです。

はじめに

同じネットワーク内にSTB(本機)とクライアント機器を接続してください。

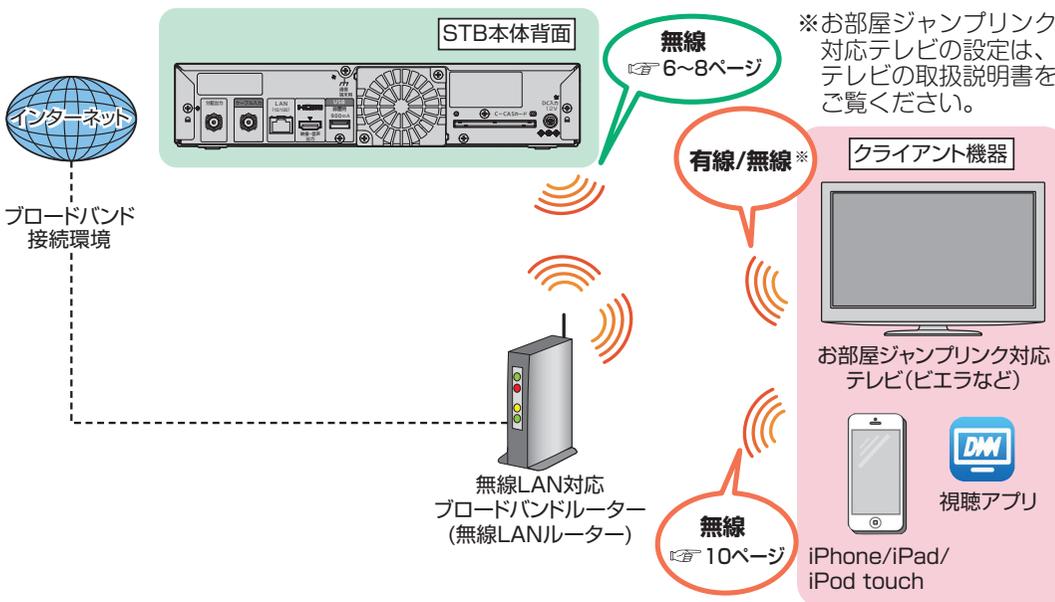
- インターネットに接続したルーターに、STB(本機)とiOS機器、お部屋ジャンプリンク対応テレビを接続してください。
- ご家庭のネットワーク環境に合わせて有線LANまたは無線LANで接続し、ネットワーク設定(☞5~8ページ)、ホームサーバー機能設定(☞9ページ)を行ってください。

■STBを有線LANで接続する



- ※1 本機をインターネットに接続する場合は、かならずブロードバンドルーターを経由して接続してください。
- ※2 ストレートケーブル、クロスケーブルのどちらでも使用できます。

■STBを無線LANで接続する



- 接続に関する詳細は、クライアント機器の取扱説明書をご覧ください。

STB(本機)のネットワーク設定

STB(本機)のネットワーク設定をしてください。

●STB(本機)とルーターとの接続方法により設定は異なります。

有線LANで接続する場合：下記

無線LANで接続する場合：6～8ページ

有線LANで接続する場合

有線LANで接続する場合、「接続テスト」を行ってネットワークの接続・設定が正常か確認してください。

1  を押す

2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、
 を押す

3 ▲▼で「ネットワーク関連設定」を選び、
 を押す

4 ▲▼で「LAN通信設定」を選び、
 を押す



5 ◀▶で「有線(LANケーブル)」を選び、
 を押す



6 ▲▼で「接続テスト」を選び、
 を押す



OK 接続が完了

宅内機器使用可 本機とホームネットワーク回線の接続が完了

テスト中 テスト中

NG ネットワークの接続と設定の確認を行ってください。

●「OK」が表示されれば接続は完了です。

7  を押して終了する
 9ページの「ホームサーバー機能(お部屋ジャンプリnk)設定」へ

お知らせ

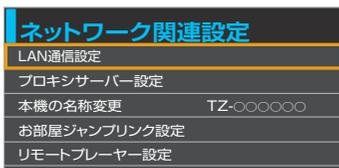
●詳しくはSTB(本機)の取扱説明書「ネットワークへの接続」(有線:82ページ、無線:84ページ)、「ネットワーク関連設定」(92～97ページ)をご覧ください。

STB(本機)のネットワーク設定

無線LANで接続する場合

無線LANで接続する場合、無線LANルーターの接続設定を行ってください。

- 1  を押す
- 2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、
 を押す
- 3 ▲▼で「ネットワーク関連設定」を選び、
 を押す
- 4 ▲▼で「LAN通信設定」を選び、
 を押す



- 5 ◀▶で「無線LAN」を選び、
 を押す



※過去に設定済みの場合は、手順⑤の後、現在の接続設定と接続状態が表示されます。アクセスポイントを変更したい場合は「いいえ」を選択し手順⑥へ進んで下さい。

「無線設定」画面が表示されます。
接続するアクセスポイント
[無線ネットワーク(SSID)]を確認し、
無線接続の設定を行ってください。

No.	無線ネットワーク(SSID)	無線方式	状態
1	○○○○○○○○○○	11n(2.4GHz)	
2	□□□□□□□□	11n(2.4GHz)	⋮ 
3	△△△△△△△△	11g(2.4GHz)	

一覧から無線ネットワーク(SSID)を選択してください。
 情報表示

■ プッシュボタン方式で接続する場合

☞ 7ページの「プッシュボタン方式の場合」へ

■ PINコード方式で接続する場合

☞ 7ページの「PINコード方式の場合」へ

■ 暗号キー入力の場合

☞ 8ページの「暗号キー入力の場合」へ

■ マニュアルで接続する場合

☞ 8ページの「マニュアルの場合」へ

■ アクセスポイントを再検索する場合

 を押す

- 本機でスキャンすることができたアクセスポイントが更新表示されます。

■ 無線接続について

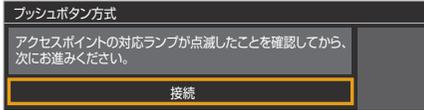
無線LANルーターがプッシュボタン/PINコード方式に対応している場合は、「プッシュボタン方式」を選ぶと簡単に設定することができます。
対応していない場合は、「PINコード方式」、「マニュアル」または「暗号キーの入力」で設定を行ってください。

- 接続先の無線LANルーターがプッシュボタン/PINコード方式に対応しているかどうかは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントを選択し、 を押すとアクセスポイントの情報表示が表示されます。(「SSID」「MACアドレス」「無線方式」「認証方式」「暗号化方式」)

無線LANで接続する場合

プッシュボタン方式の場合

6 を押す



アクセスポイントの「プッシュ」ボタンを対応ランプが点滅するまで押す

※ プッシュボタン対応ランプが点滅したら、 を押す

設定がはじまります。

※アクセスポイントにより、操作方法・ボタン・ランプなどは異なります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

7 「無線ネットワークへの接続が完了しました。」と表示されたら、 を押す

8 ▲▼で「接続テスト」を選び、 を押す



●「OK」が表示されれば接続は完了です。

9 を押して終了する ☞ 9ページの「ホームサーバー機能（お部屋ジャンプリnk）設定」へ

PINコード方式の場合

6 ▲▼で接続したいアクセスポイント（無線LAN親機）を選び、 を押す



- PINコードが表示されます。PINコードを接続したいアクセスポイントに入力してください。
- 接続機器へのPINコードの入力については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

7 を押す

8 「無線ネットワークへの接続が完了しました。」と表示されたら、 を押す

9 ▲▼で「接続テスト」を選び、 を押す



●「OK」が表示されれば接続は完了です。

10 を押して終了する ☞ 9ページの「ホームサーバー機能（お部屋ジャンプリnk）設定」へ

お知らせ

- 詳しくはSTB(本機)の取扱説明書「ネットワーク関連設定」(92 ~ 97ページ)をご覧ください。

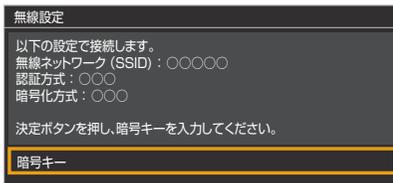
STB(本機)のネットワーク設定

無線LANで接続する場合

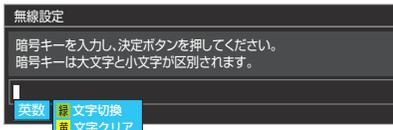
暗号キー入力の場合

接続機器の暗号キーを入力して接続します。

- 6 ▲▼で接続するアクセスポイントを選び、決定を押す



- 7 決定を押す
暗号キーを入力し、決定を押す



- 8 「無線ネットワークへの接続が完了しました。」と表示されたら、決定を押す

- 9 ▲▼で「接続テスト」を選び、決定を押す



●「OK」が表示されれば接続は完了です。

- 10 元の画面を押して終了する
☞ 9ページの「ホームサーバー機能 (お部屋ジャンプリnk)設定」へ

マニュアルの場合

- 6 緑 を押す



- 接続するアクセスポイントのSSID、認証方式、暗号化方式、暗号キーを画面に従って入力してください。入力内容がアクセスポイントと違う場合は、接続できません。
- マニュアルで接続できない場合は、「暗号キー入力の場合」(☞ 左記)で接続してください。

- 7 「無線ネットワークへの接続が完了しました。」と表示されたら、決定を押す

- 8 ▲▼で「接続テスト」を選び、決定を押す



●「OK」が表示されれば接続は完了です。

- 9 元の画面を押して終了する
☞ 9ページの「ホームサーバー機能 (お部屋ジャンプリnk)設定」へ

ホームサーバー機能(お部屋ジャンプリンク)設定

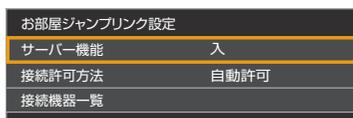
STB(本機)のホームサーバー機能を「入」にする

DiXiM CATV Player を使用するには、STB(本機)のサーバー機能を「入」にする必要があります。

- 1  を押す
- 2 ▲▼◀▶で「設定メニュー」を選び、 を押す
- 3 ▲▼で「ネットワーク関連設定」を選び、 を押す
- 4 ▲▼で「お部屋ジャンプリンク設定」を選び、 を押す



- 5 ▼▲で「サーバー機能」を選び、 を押す
▼▲で「入」を選び、 を押す
▼▲で「接続許可方法」を選び、 を押す
▼▲で「自動許可」を選び、 を押す



- 接続許可方法は「手動許可」でも設定することができます。
「手動許可」で設定される場合は、STB(本機)の取扱説明書(97ページ)をご覧ください。

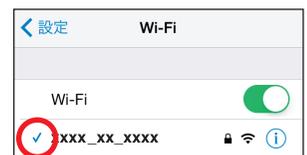
- 6  を押して終了する

iOS機器とルーターの接続

※画面イメージはiPhone/iPod touch版です。iPad版やiOSのバージョンにより一部デザインが異なる場合があります。操作画面は予告なく変更する場合があります。

iOS機器と無線LANルーターをWi-Fi接続する

- 1 ホーム画面から  [設定] をタップする
- 2 [Wi-Fi] をタップする
- 3 [Wi-Fi] が「オフ」になっている場合は、「オン」にする
- 4 接続設定を行う無線LANルーターのSSIDをタップする
- 5 パスワードを入力し、[Join] または [接続] をタップする
 - SSIDの前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。
- 6 ホームボタンを押し、ホーム画面から  [Safari] をタップする
 - インターネットに接続できることを確認したら、接続設定は完了です。



お知らせ

- 「SSID」と「パスワード」は無線LANルーターの本体側面や底面に記載されています。メーカーにより「パスワード」は、「暗号化キー」などと表記されている場合もあります。詳しくはお使いの無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。

DiXiM CATV Playerの設定

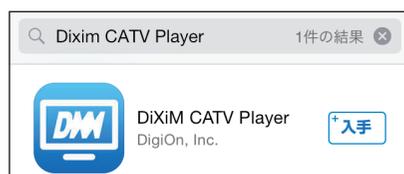
DiXiM CATV Player アプリのダウンロード

iOS機器 (iPhone/iPad/iPod touch) に視聴用アプリ『DiXiM CATV Player』(無料) をインストールしてください。

1 ホーム画面から  [App Store] をタップする

●AppStoreに接続できない場合は、ネットワークの接続をご確認ください。

2 「DiXiM CATV Player」を検索する



3 画面の指示に従ってアプリをインストールする

お知らせ

●DiXiM CATV Player アプリの対応OSと対応機器は下記URLでご確認ください。

<https://www.digion.com/sites/catv/>

DiXiM CATV Playerの設定

アクティベーション作業とCA証明書のインストール

DiXiM CATV Player を使用するには、「アクティベーション作業」および「CA証明書のインストール作業」が必要です。

- 1 ホーム画面から  [DiXiM CATV Player]をタップする
- 2 「アクティベーション」および「CA証明書のインストール」で、注意文を確認の上それぞれ [同意して登録] [ダウンロード] をタップする



「ケーブル事業者名」と「ユーザー情報」(任意)を選びます。

- 3 [証明書のインストールを開始する]をタップする



- 4 [インストール]をタップする



- 5 警告画面の注意文を確認の上、[インストール]をタップする

- 6 インストール完了後は [完了] をタップし、[DiXiM CATV Playerに戻る]をタップする



※DiXiM CATV Player のメニュー画面が表示されます。(13ページ)

お知らせ

- 4G(LTE)環境では使用できません。インターネット接続された同一ネットワーク環境でご利用ください。
- iOSのバージョンによりCA証明書のインストール操作が必要ない場合があります。
- STB(本機)が未接続の場合はアクティベーション設定画面は表示されません。
- iOS14以降の場合、ネットワークセキュリティ機能の向上で「ローカルネットワークの許可設定」が必要です。

お知らせ

- 設定中にパスコードの入力を求められる場合は、iOS機器のロックで使用しているパスコードを入力してください。このパスコードが、各種通信によって送信されることはありません。
- 本アプリを使用するには「写真」へのアクセスがオンになっているかご確認ください。
 - 設定の確認
ホーム画面から [設定] → [プライバシー] → [写真] で [CATV Player] を許可

DiXiM CATV Playerで見る

現在放送中の番組を見る

STB(本機)で受信中の現在放送中の番組をDiXiM CATV Player で視聴することができます。

チャンネルリストから選局する

- 1 メニュー画面で[視聴]および「全て」をタップし、チャンネルを選ぶ

上下スワイプで放送局名をスクロールできます。



お好みリストから選局する

- 1 メニュー画面で[視聴]および「お好み」をタップし、チャンネルを選ぶ

上下スワイプで放送局名をスクロールできます。



お知らせ

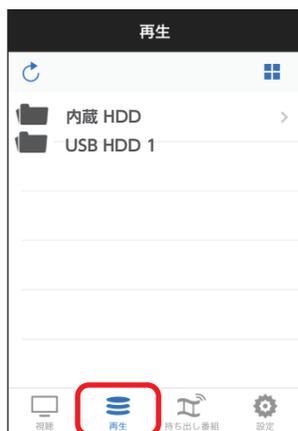
- 再生されるまで約10秒時間がかかりますが、不具合ではありません。
STB(本機)の状態によっては、さらに時間がかかる場合があります。
※設定メニュー内の「バッファサイズを変更する」でバッファサイズを小さくすると、再生されるまでの時間を短くすることができます。
- 未契約チャンネルはチャンネルリストに表示されないか、表示されても視聴できません。
- 一部の地上デジタル放送やBSデジタル放送はチャンネルリストに表示されません。
※表示されないチャンネルをリスト表示するには、STB設定メニュー内の「チャンネル設定」でご希望のチャンネルをリモコンの1～36のいずれかに登録してください。設定方法はSTB(本機)の取扱説明書をご覧ください。
- 初期状態では「お好み」にはチャンネルリストは登録されていません。本アプリの[設定]→[お好み選局]からお好みのチャンネルを選択してリストを作成してください。
- お好みリストはiOSデバイスごとに作成することができます。
- データ放送には対応していません。
- PPV番組には対応していません。
- 視聴年齢制限付き番組を視聴する場合は、本アプリの[設定]→[視聴制限番組の年齢設定]の設定を行ってください。
- 4K放送は視聴できません。

DiXiM CATV Playerで見る

録画済み番組を見る

STB(本機)の内蔵ハードディスク、または、USBハードディスクに録画済みの番組をDiXiM CATV Player で視聴することができます。

- 1 メニュー画面で[再生]をタップし、再生したい番組が含まれるフォルダを選ぶ



お知らせ

- 視聴年齢制限付き番組を再生する場合は、本アプリの[設定]→[視聴制限番組の年齢設定]の設定を行ってください。
- 4K放送の録画番組は視聴できません。

- 2 再生したい録画済み番組を選ぶ

上下スワイプで番組リストをスクロールできます。



録画済み番組の削除

番組名をスワイプし表示されるゴミ箱アイコンを選択すると、録画済み番組を削除できます。
※削除後は復帰はできませんのでご注意ください。



番組の削除アイコン

- インフォメーションボタン ⓘ を押しても、同様のボタンが表示されます。

録画済み番組を持ち出す

STB(本機)の内蔵ハードディスク、または、USBハードディスクに録画済みの番組をiOS機器に持ち出すことができます。

録画済み番組を持ち出す

- 1 メニュー画面で[再生]をタップし、持ち出したい番組が含まれるフォルダを選ぶ



- 2 番組リストから持ち出したい番組を左右にスワイプし、数字入りアイコンを選択



持ち出した番組を再生する

- 1 メニュー画面で「持ち出し番組」をタップし、再生したい番組を選択。



■ 持ち出し番組の削除

番組名を左スワイプし表示される削除メニューを選択すると、持ち出し番組を削除できます。

- インフォメーションボタン*i*内のゴミ箱マークからも番組を削除することができます

お知らせ

- 持ち出し番組の作成には、録画時間と同じ時間がかかります。
- 持ち出し番組の再生は設定メニュー内の「再生品質」の設定に関わらず常に標準画質となります。
- あらかじめ持ち出し変換を実行した番組は、HDDフォルダ下の「持ち出し番組」フォルダ内に表示されます。持ち出し実行時にこのフォルダにアクセスすることで高速に転送が行えます。詳しくはSTB(本機)の取扱説明書「持ち出し番組の作成」(42、50、65ページ)をご覧ください。
- 4K放送の録画番組は持ち出すことはできません。

表示アイコンの説明

	持ち出し可能な番組です。 (数字は持ち出し残り回数です)
	持ち出し済み番組です。
	持ち出し待機中の番組です。
	持ち出し処理中(ダウンロード中)の番組です。
	持ち出しできない番組です。

■主な仕様

品番		TZ-LT1500BW	TZ-HT3500BW
使用電源		付属 AC アダプター：AC100V 50Hz/60Hz 両用（本体：DC12V）	
消費電力	電源オン	9 W	13 W
	電源オフ クイックスタート「切」	0.5 W	0.5 W
	機能的待機時	6 W	6 W
デジタル放送	受信変調方式：64QAM / 256QAM (ISDB-C)	受信周波数帯域：90 MHz～770 MHz 受信レベル：49～81 dB μ V (64QAM)、55～81 dB μ V (256QAM) (平均値) バンド幅：6 MHz	
	受信変調方式：OFDM	受信周波数帯域：90 MHz～770 MHz 受信レベル：47～81 dB μ V (平均値) バンド幅：6 MHz	
	受信変調方式：BSPK、QPSK、8PSK (ISDB-S) / π / 2BPSK、QPSK、8PSK、16APSK (ISDB-S3)	受信周波数帯域：1032～1489 MHz、2224～2681 MHz 受信レベル：48～81 dB μ V (平均値) バンド幅：34.5 MHz	
内蔵ハードディスク容量		—	2.0 TB
無線 LAN		準拠規格：IEEE802.11a/ac/b/g/n 使用周波数範囲 / チャンネル (中心周波数)： 2.412 GHz～2.472 GHz/1～13ch 5.180 GHz～5.240 GHz/W52：36, 40, 44, 48ch 5.260 GHz～5.320 GHz/W53：52, 56, 60, 64ch 5.500 GHz～5.700 GHz/W56：100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch セキュリティ：PSK2 (TKIP/AES)、PSK (TKIP/AES)、WEP (64bit/128bit)	
接続端子	ケーブル端子	F 型接栓、75 Ω	
	分配出力端子	F 型接栓、75 Ω	
	HDMI 映像・音声出力端子	1 系統 (19 ピン、typeA 端子)	
	LAN 端子	1 系統 (100BASE-TX 端子) (AutoMDI/MDI-X 対応)	
	USB 端子	2 系統 USB [背面] [録画用 USB HDD]：USB3.0、DC5 V MAX900 mA USB [前面] [AV 周辺機器用]：USB2.0、DC5 V MAX500 mA	
外形寸法		幅 28.0 cm × 高さ 5.9 cm (脚含む) × 奥行 22.4 cm (突起部含む)	
質量		約 1.4 kg	約 2.0 kg
環境条件		許容周囲温度：0℃～40℃、許容相対湿度：10%～80%RH (結露なきこと)	許容周囲温度：5℃～40℃、許容相対湿度：10%～80%RH (結露なきこと)

- iPhone、iPad、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社とのライセンスのもとで使われています。
- iOS 商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使われています。
- DiXiM は、株式会社デジオンの登録商標です。

無線 LAN に関する注意事項

【使用周波数帯】無線 LAN は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

【使用上の注意事項】この機器の使用周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を有する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。①この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。②万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえで、ご加入のケーブルテレビ局にご連絡いただき、混信回避のための処置など (例えば、パーティションの設置など) についてご相談してください。③その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、ご加入のケーブルテレビ局へご相談ください。

■無線 LAN の周波数表示の見かた (本機背面に記載)



サービス・料金等のお問い合わせについては、お近くの CATV 局へ。

パナソニック コネクト株式会社

本冊子の掲載内容は、2022年4月現在のものです。